

【調査ガイド】

* アンケートフォームを開く前に必ずお読みください。

本調査のテーマは以下の2つです。

1. 多様な利用者について

「これまであまり**想定していなかった支援ニーズのある**障害者」や「就労支援**サービスが十分に提供されていない**と思われる障害者」など、支援対象として新しい、さまざまな障害者の利用状況をおうかがいします。

2. 支援者の人材育成について

多様な利用者に対し、質の高い支援を実施するには、支援者のスキルアップが必要です。現状、**どのような人材育成を行っているか、今後どのような研修が必要か**等をおうかがいします。

* 多様な利用者の受入れ有無にかかわらず、ご回答ください

* 回答事業所属性別の分析のため、また、ご回答内容を確認させていただく必要性がたまに生じることから、事業所概要もおうかがいします。調査外の目的で使用することはありませんので、ご理解・ご協力をお願いします。

* 「多様な利用者」の受入れがない場合も、ご回答いただけるアンケート内容です。ぜひご協力ください。

* 高次脳機能障害の方のご支援など、特定の「多様な利用者」を、専門的にご支援されている事業所様には、回答項目が多く、入力にお時間を要する場合がございます。可能な範囲でご回答いただければ幸いです。

「多様な利用者」とは・・・具体的にはこんな方々です

本調査でおうかがいする「多様な利用者」の10タイプ

- ① **入職時**、就労後の環境に段階的に慣れていけるように、企業等で働きながらサービスを利用した者
- ② **入職後6か月以上経過**し、就労上での生活習慣や対人面の課題改善のため、企業等で働きながらサービスを利用した者
- ③ **入職後6か月以上経過**し、一時的な体調不良の立て直しのため、企業等で働きながらサービスを利用した者
- ④ 企業等を**退職**しており、職場復帰に向けた準備のためサービスを利用した者
- ⑤ 企業等で**長く働き**、加齢、体力の減退等により継続が難しくなり、福祉サービスへの段階的な移行のため、企業等で働きながらサービスを利用した者
- ⑥ **その他の具体的な理由**で、企業等で働きながらサービスを利用した者
- ⑦ 企業等を**退職後**にサービスを利用した**50歳以上**の者
- ⑧ 短大、高専、専門学校、大学、大学院等に**通学または休学**している学生
- ⑨ **難病者**（企業等で就労しながらではない）
- ⑩ **高次脳機能障害**のある者（企業等で就労しながらではない）

企業等の就労先が**ありながら**事業所を併用している利用者

企業等に**就労はしていない**新たなタイプの利用者

上記に該当する方を「H30年度～R2年度」の間に**利用契約を結んで支援されたかどうか**（※就労定着支援の利用や、サービス利用終了後の定着支援を除きます）をうかがいます。該当者がいる場合は、その方のケースファイル等をご用意の上ご回答ください。

■ご回答にあたってのお願い【注意事項】

ご回答は、管理者、サービス管理責任者の方にお願ひします。

・利用者の受入れや人材育成について所管されている方にご回答をお願いいたします。

入力は、最後まで、一度にお願ひします。

・ウェブアンケートのシステム上の制約から、入力途中で画面をクローズされますと再度アクセスされた時には元の画面を呼び出すことが出来ません。

・回答した画面より前に戻ると、戻った画面から後の部分の回答は白紙に戻ってしまいます。

画面のガイドに沿って、順番にご入力してください。

・画面のガイドに沿ってご回答ください。1つだけ選択、複数選択可、数値で入力する項目、自由記述の項目などがあります。回答次第で、次の質問が変わります。画面のガイドに沿って進むことで、スムーズにご回答いただけますので、ご安心ください。

最後に「送信」ボタンを押して戴くことで完了となります。

・送信を受け付けると「ありがとうございました」のメッセージが返ってきます。

アンケート実施期間：令和3年7月26日（月）15:00～8月24日（火）正午

今後の就労支援事業所の制度改正や施策の資料となる調査です。
就労支援の皆様の貴重なご意見を集約し、今後の活用につなげたいと存じます。
ご多忙のところ、ご負担をおかけし誠に恐縮ですが、ご協力をお願い申し上げます。

調査実施機関：株式会社FVP

担当：稲山・片岡

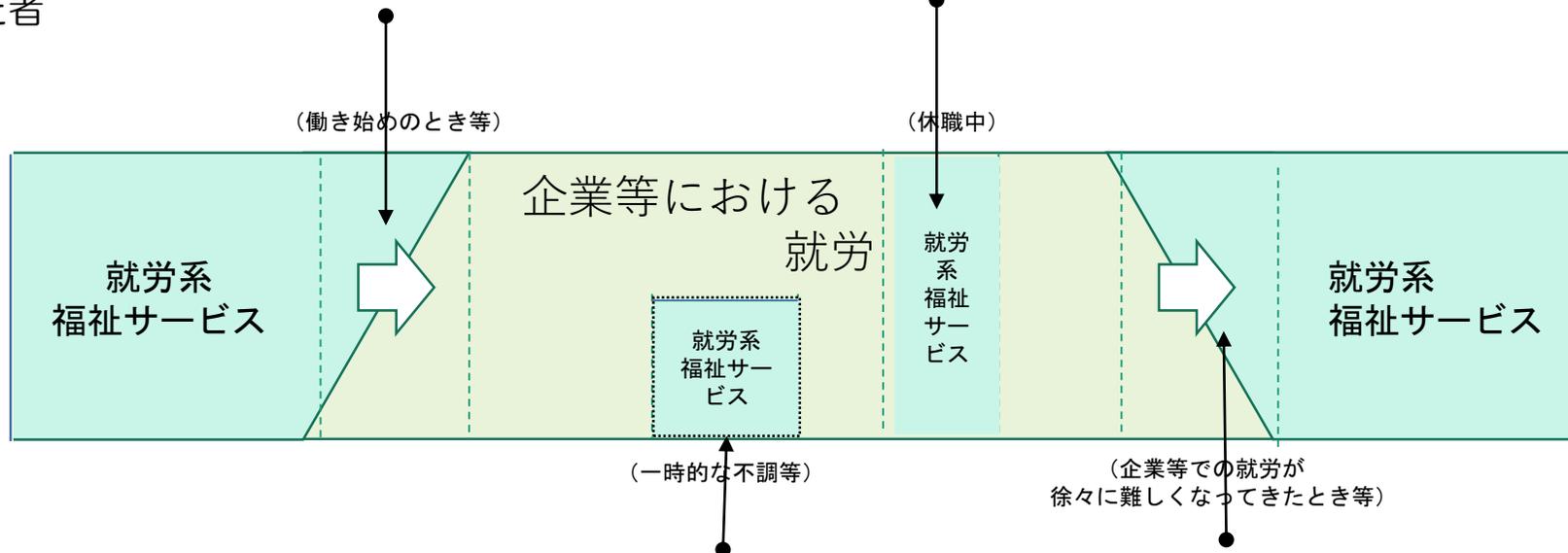
TEL: 03-5577-6913, mail: research@fvp.co.jp

【ご参考】

多様な利用者①～⑤の「企業等の就労先がありながら事業所を併用している利用者」のイメージ図

①入職時、就労後の環境に段階的に慣れていけるように、企業等で働きながらサービスを利用した者

④企業等を休職しており、職場復帰に向けた準備のためサービスを利用した者



②入職後6か月以上経過し、就労上での生活習慣や対人面の課題改善のため、企業等で働きながらサービスを利用した者

③入職後6か月以上経過し、一時的な体調不良の立て直しのため、企業等で働きながらサービスを利用した者

⑤企業等で長く働き、加齢、体力の減退等により継続が難しくなり、福祉サービスへの段階的な移行のため、企業等で働きながらサービスを利用した者

働く期間

【ご参考】

アンケート質問項目一覧

NO	質問項目	備考
事業所について		
1	事業種別	
2	単機能／多機能	
3	多機能の場合の併設事業	
4	利用定員	
5	職員（常勤＋非常勤）の平均経験年数	
6	同法人内で実施中の他事業	
7	法人形態	
8	法人従業員数	
9	事業所概要	所在地、法人名、事業所名、連絡先、回答者名等
多様な利用者の受入れ状況について		
10	10タイプにおける多様な利用者の有無	H30年度～R2年度の間 に利用契約を結んで支援 された利用者
11	それぞれの利用者数	新しい方から5人まで回答 * 選択肢から選ぶ形式で す
12	それぞれの利用者の障害種別	
13	それぞれの利用者の年齢	
14	それぞれの利用者の受入先	
15	それぞれの利用者の利用開始からの期間	
16	それぞれの利用者にご利用頻度	
17	それぞれの利用者の1日当たりの利用時間	
18	6タイプ（企業等の就労先がありながら事業所を併用している利用者）それぞれの利用者について障害内容開示の有無	

事業所概要をうかがいます

アンケート結果の分析、回答内容の確認のための質問です。

多様な利用者の受入れ状況をうかがいます

P 1 の10タイプをご確認ください。
該当者の有無、「該当者あり」の場合はその人数をうかがいます。
続いて、**令和2年度までの直近3年間に受入れた方の中から、新しい方5人まで**について、さらに詳細をうかがう質問になっています。

タイプ別に該当人数分、最大5人ずつ回答枠が表示されますので、受入れの新しい方5人までについて、できるだけご回答をお願いします。

【ご参考】

アンケート質問項目一覧

19	通学または休学している学生の在籍先	
20	学生の利用開始時点での進路の見込み	
21	6タイプ（No.18と同じ）それぞれの利用者の利用開始までの企業等での勤務期間	新しい方から5人まで回答 * 選択肢から選ぶ形式です
22	退職後にサービスを利用した50歳以上の者の利用開始までの企業等での勤務期間	
23	7タイプ（企業等の就労先がありながら事業所を併用している利用者、及び通学又は休学している学生）それぞれの利用者の通勤・通学の頻度	
24	6タイプ（No. 18と同じ）それぞれの利用者の1日の勤務時間	
25	タイプ別の利用者の受入経路	
26	タイプ別の利用者に行った支援内容	
27	上記支援の目的	
28	タイプ別の利用者が支援を受けたことによる効果	自由記述
29	タイプ別の利用者が支援を受けたことによる課題	自由記述
30	10タイプにおいて照会があったがサービス利用契約に至らなかった場合の有無とその理由	
支援者の人材育成について		
31	有資格者在籍の有無	
32	有資格者の数	
33	各種研修の取り組み状況	
34	強化すべき研修項目	
35	研修を実施する上での課題	自由記述
36	各種研修の実施方法	
37	外部研修を利用する場合の事業主体	

多様な利用者の受入れ状況の質問です
（続き）

多様な利用者の受入れ状況の質問です
（続き）

この部分は、個々の利用者についてではなく、**タイプ別にご回答**いただく形式になります。

この質問は、多様な利用者の受入れ有無に関わらず、**全ての事業所にご回答**をお願いします。

人材育成についての質問です

全ての事業所にご回答をお願いします。